

平成 24 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(山北第 1 ブロック地区)

|       |   |       |
|-------|---|-------|
| 開催日時  | 平成 24 年 9 月 19 日 (水) 午後 7 時から午後 9 時             | 天気 晴れ |
| 場所    | 第 2 児童館   |       |
| 町民参加者 | 男 17 人 女 10 人 (40 代以下 0 人、50 代 4 人、60 代以上 23 人) |       |
| 町出席者  | 町長、副町長、教育長、企画財政課長、総務防災課長、環境農林課長、生涯学習課長、事務局 2 人  |       |

## 出席者から出された主な意見や提案

### 《テーマ：防災対策》

- 消防の広域化を行った場合、災害発生の通報から出張所への出動指令が消防署内で二重三重となり、山北出張所への出動指令が遅れることとならないか。
- 町の自主防災組織は自治会単位となっているが、ほとんどの自治会の役員は 2 年で交代してしまう。また、世帯数も 30 から 40 世帯の小規模であるので、自主防災組織を組織する上での適正な組織構成・単位とはなっていないのではないか。
- 自主防災組織など様々な事について自治会主体となっているが、自治会への未加入世帯の問題がある。
- 自主防災組織の充実には、自治会への財政的な支援が必要かとも思うのだが。
- 東北でおきた大震災のような災害が発生した際の本部は役場庁舎となるはずだが、他市町村との連携体制はどのようになっているのか。
- 災害が発生したときの災害弱者である高齢者や障がいのある方ほど個人情報の関係により安否確認がうまくできず、役場への報告も遅くなると想定される。
- 急傾斜地法が施行されてから斜面に面している地域の安全は考えているのか。
- 萩原自治会は自治会加入率が非常に悪いし、未加入世帯に加入を勧めても入らない。現在、防災訓練などは自治会単位で行っている。自治会に参加・加入していただかないことには訓練の連絡も訓練への参加要請も行うことができない。

### 《テーマ：その他》

- 東名バスを利用して東京に行くが、東名山北バス停付近に駐車場がない。駐車場があれば利用しやすいと思う。

○神奈川県に緊急財政対策本部が設立され、県有施設の廃止や各種補助金をカットすると掲載されていた。これに対してどう考えているのか。

○河村城跡がセラピーロードに認定されているが、セラピーの効果がよくわからない。

○町として高齢者の運動不足による転倒や健康被害に対する体力作り支援や健康を保つための支援はあるのか。